小学部１年　生活単元学習　学習指導案（略案）

日　　時　　令和８年 11 月６日　金曜日
第２校時　10：30～11：10
場　　所　　プレイルーム
授 業 者　　新福誠（T1）　三浦光里（T2）
木皿優（T3）

１　単元名　「１くみらんどであそぼう」

２　単元のねらい

・活動の流れに見通しをもって最後まで取り組むことができる。(がんばる子)
・友達を遊びに誘ったり、誘いを受け入れたりして一緒に遊ぶことができる。(なかよくする子)
・友達と一緒に活動している場での簡単な約束を守りながら遊ぶことができる。(ひろげる子)

３　単元の指導計画（８時間　本時３／８）

次	時数	学習活動	取り扱う教科等の内容	知・技	思・判・表	主
1次	1	○「わくわくでんしゃ」にかざりをつけよう ・友達と遊具で遊んでいる写真を見て遊びを振り返る。 ・色や形を選んだり、絵をかいたりして「わくわくでんしゃ」に飾りを付ける。	**【生活】１段階　オ人との関わり（イ）** **１段階　カ役割（ア）** **【図工】１段階　ア A 表現（イ）**	○ ○	○	
2次	5	○「１くみらんど」であそぼう ・「わくわくでんしゃ」や「１くみらんど」の約束を確認する。 ・約束を守りながら「わくわくでんしゃ」に乗ったり、「１くみらんど」であそんだりする。 ・友達とやりとりしながら一緒に遊ぶ。 ・楽しかった遊びを伝える。	**【生活】１段階　オ人との関わり（イ）** **１段階　コ社会の仕組みと公共施設（イ）** **【国語】１段階　A 聞くこと・話すこと**	○	○ ○	
3次	3	○「１くみらんど」をひろげよう ・やりたい遊びを選んで遊ぶ。 ・友達とやりとりしながら一緒に遊ぶ。 ・楽しかった遊びを伝える。	**【生活】１段階　オ人との関わり（イ）** **１段階　コ社会の仕組みと公共施設（イ）** **【国語】１段階　A 聞くこと・話すこと**	○	○ ○	

４　本時について

（１）　本時のねらい

・簡単な約束を守ったり、友達とやり取りをしたりしながら活動することができる。
（がんばる子・なかよくする子）

（２）　本時の学習活動・取り扱う教科等の内容

学習活動	取り扱う教科等の内容
・電車に乗ろう	【生活】・第１段階　コ社会の仕組みと公共施設 〈知・技〉公共機関の名称や利用方法などに関心をもち、活動しようとしている。 【国語】・第１段階　A 聞くこと・話すこと 〈思・判・表〉身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりして遊ぼうとしている。

（3） 本時の個別の支援・手立て、評価の判断の基準、評価

	本時の個人目標		学習活動	評価の「判断の基準」 ▶支援・手立て
A	①	教員と一緒に約束を確認しながら電車に乗ることができる。	電車ごっこ	IC カードをタッチしたり、座って電車に乗ったり等を教員と一緒に行おうとしている。 ▶手添えや指差しなどで行動を促し、やり方がわかるようにする。
	②	教員や友達とかかわりながら遊ぶことができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	教員や友達の誘いを受けて、一緒に遊ぼうとしている。 ▶好みの遊具を見せたり、近くまで行って見せたりして誘うようにする。他の児童同士をつなぐような言葉かけをする。
B	①	約束を守って電車に乗ることができる。	電車ごっこ	カードを正しくタッチしたり、走行中立ち上がらずに座ったりするなど、確認した約束を守ろうとしている。 ▶教員や友達の手本を見せることで、約束の内容が分かるようにする。
	②	友達とやりとりをしながら遊ぶことができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	「かして」や「どうぞ」など本人なりの表現で友達に働きかけたり、友達からの働きかけを受け入れたりして遊ぼうとしている。 ▶必要に応じて教員が仲介し、児童同士のやり取りができるようにする。
C	①	約束を守って活動することができる。	電車ごっこ	教員からの促しを受けながら、約束を守って電車に乗ったり靴をそろえたりしようとしている。 ▶一つずつ手順の手本を見せたり、本人の動きが止まったら言葉かけや指差しで促したりすることで、やることが分かるようにする。
	②	友達に働きかけたり、誘いを受け入れたりして遊ぶことができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	友達を自分から遊びに誘ったり、話しかけたりして一緒に遊ぼうとしている。 ▶必要あれば教員が代弁して仲介したり、遊びを提示したりすることで、児童が自分から友達を誘えるようにする。
D	①	約束を守って電車に乗ることができる。	電車ごっこ	約束の内容がわかり、座って電車に乗ったり靴を決められた場所に置こうとしたりしている。 ▶手本を見せたり、絵カードを提示したりすし、必要に応じて言葉かけや手添えをする。
	②	友達や教員からの誘いや働きかけに気付いて一緒に遊ぶことができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	友達や教員からの働きかけに応じて、遊ぼうとしている。 ▶友達や教員からの働きかけに気付けるよう、言葉かけをして一緒に遊べるようつなげる。
E	①	約束を守って活動することができる。	電車ごっこ	約束の内容を理解し、自分から電車に乗り込んだり靴をそろえたりしようとしている。 ▶手本を見せたり、友達の様子を見せたりすることで、活動の内容を理解し見通しをもって取り組めるようにする。
	②	友達を誘ったり自分から遊びに参加したりすることができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	友達を遊びに誘ったり、自分から友達の遊びに参加したりして一緒に遊ぼうとしている。 ▶友達と一緒にできる遊びを提示して見せたり、誘いかける言葉の手本を提示したりすることで、友達とやり取りができるようにする。
F	①	約束を守って活動することができる。	電車ごっこ	約束の内容がわかり、約束を守りながら電車に乗ろうとしている。 ▶手本を見せたり、絵カードを提示したりして約束事を確認できるようにする。
	②	友達に働きかけたり、遊びの輪に入ったりして遊ぶことができる。	「１くみらんど」で遊ぶ	友達に呼び掛けたり、遊びに誘ったりして一緒に遊ぼうとしている。 ▶「あそぼう」等、友達を誘う手本を提示し、まねできるようにする。

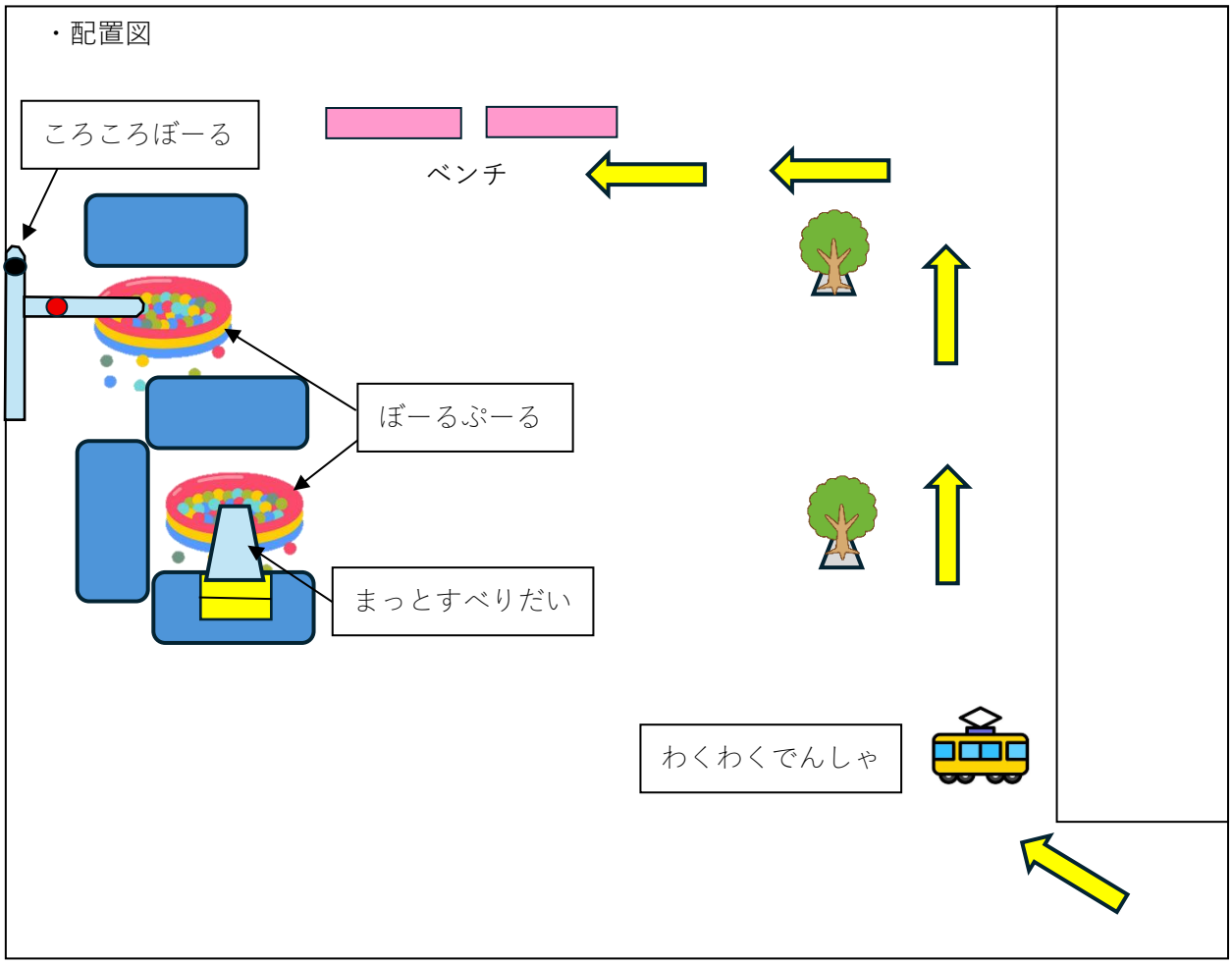
（4）本時の展開

時間	学習活動	教員の動き（〇）　支援（・）
5 分	〇あいさつをする。	〇当番の児童に、はじめのあいさつをするために前に出てくるよう促す。 ・必要に応じてあいさつの動作を促し、自発的な動きやことば等が出てこない場合は、手添えやことばの始めの一文だけを伝える。 〇本時の活動内容等について説明する。
	〇本時の活動の流れや「がんばりぽいんと」「やくそく」を確認する。 「がんばりぽいんと」 →やくそくをまもろう。 →なかよくあそぼう。 「やくそく」 ①わくわく電車に乗るときはピッとする。 ②電車は座って乗る。	・モニターに①「でんしゃごっこ」②「１くみらんど」③「きょうしつにもどる」のイラストや写真を順番に提示し、見通しをもてるようにする。 ・「がんばりぽいんと」「やくそく」を示す際、具体的な場面の写真を提示する。 ・T2、T3はモニターに注目できるよう指差し等で促す。また必要に応じて個別に説明する。
２５ 分	〇電車ごっこの遊び方を見る。	〇電車ごっこの実演をする。(T1、T2) ・ICカードの使い方や電車の乗り方を示しながら楽しい雰囲気を出し、期待感を持てるようにする。 ・ICカードの模型を使い、実際の乗車と同じような体験ができるようにする。
	〇電車ごっこをしながらプレイルームへ移動し、ベンチに座る。 （わくわく電車：２人が乗って、Tが押す） 児童A/B/C/D/E/F判断の基準①	〇T2は児童AC、T3は児童ＤＥと一緒にわくわく電車で移動する。T3はプレイルームのベンチで児童ACDEと一緒に待機する。 〇T1は児童BFと教室で待機し、T2がわくわく電車を持って、戻ってきたらプレイルームへ移動する。
	〇「１くみらんど」の遊び方を見る。	〇T2は遊び方を実演する。 ・上履きを足跡マークの場所に置くところを見せ、上履きの置き場所がわかるようにする。 ・Ｔ1、Ｔ2ですべり台やボール転がしを順番にやっている実演を見せ、順番にやることがわかるようにする。また、待つ位置にあるマークやカードも見せるようにする。 ・楽しい雰囲気が伝わるよう、歓声などで盛り上げるようにする。 ・遊んでいる時間は曲を流し、曲が止まったら「おしまい」の合図とする。

	○「１くみらんど」で遊ぶ。 児童A/B/C/D/E/F判断の基準② ○終わりの合図でベンチに座る。	○遊びをはじめるために「なかよくあそぼう」の掛け声をかけて遊びをはじめる。 ・好きな遊びを選んで遊ぶよう促す。 ・友達とかかわって遊んでいる姿や一緒に遊ぼうとする姿に対して認めたり、称賛の言葉かけをしたりする。 ・必要に応じて教員も遊びに加わって遊んだり、児童同士をつないだりする。 ・安全に気を付けながら見守りをする。 ・立ち位置の基本は、T1がボール転がし付近、T2はわくわく電車付近（児童が来たら対応）、T3はすべり台付近に付く。状況に応じて入れ替わる。 ○曲を止めて、ベンチに座るよう指示を出す。 ・遊びを続けたくて終わりにすることに抵抗感を示している児童がいた場合は、T2が個別に対応する。
5分	○電車ごっこをしながら教室へ戻る。	○T2、T3は行きと同様のペアに付き添って教室へ戻る。 ・約束を確認してから乗るようにする。
5分	○本時の振り返りをする ○あいさつ	○楽しかった遊びやまたやってみたい遊びを児童に聞く。 ・言葉で伝えることが難しい場合は、モニターの写真や遊びのカードをタッチして選べるようにする。 ・友達や教員とかかわりながら楽しく遊んでいた姿を取り上げて称賛し、遊びの楽しさや友達とかかわるよさを感じられるようにする。 ○当番の児童に、おわりのあいさつをするために前に出てくるよう促す。 ・必要に応じてあいさつの動作を促し、自発的な動きやことば等が出てこない場合は、手添えやことばの始めの一文だけを伝える。

5　備考

・配置図



8　教材・教具

・モニター　・ベンチ　・ホワイトボード
・車掌帽子２つ　・遊具の待機場所表示　・順番表示
・わくわく電車(台車)　・マット滑り台(階段マット、折り畳みマット２枚、銀マット)
・ボールプール　・ボール転がし用の筒や樋
・電車コースのトンネル(ビニール)
・振り返り用遊具カード　・天井飾り(ビニールテープ等)
・電車コースの木２本(三角コーン装飾)